

拜啓 新緑の候となりましたが、お元気の御事と存じます。
さて先日は貴作¹「白い魔魚」を御教授にあつかりありがた
く存じます。 東大学生の一人が、先生をモテルにしてゐま
すよとらぬのが、新聞御連載中から興味あかく読ませ
て下さるうりました。 松崎教授のことと、その先生が言つて
ゐるのと思ひました。 かとなく新しい時代に生きてゐる
何物かに、はつきりとした形を予へられたやうな気がして、
さすがに大きくなられたと、作家の成長を、確認させられた
ことです。 先生、是日素持病のほか、肺をまた起し、
りよよいつて、動きがとれません。 かつて源氏を上演した事
時のことを思ひ出し、一度大兄としてみいみ語り合ひたい
と存じてをうります。 左手不自由のため、口述で記録する書
信となりましたが、お許し下さい。 延引ながら御礼の一言申し
上げました。

五月十日

舟橋聖一様

池田亀鏡

五月十日

豊島区椎名町二丁目二

池田亀鏡